

## 授業改善推進プラン<外国語科>

### 外国語科における昨年度の授業改善推進プランの検証

<p>&lt;成果&gt;</p> <p>○ほとんどの領域・内容において、正答率が目標値を上回った。特に思考・判断・表現の観点において区の平均値と比べ上回った。</p> <p>○聞くこと領域（単語の意味理解）において、簡単な語を聞き、その意味を理解している内容は、目標値を上回った。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎の活用、単語の意味理解（聞く）、アルファベットの読み（聞く）の理解</li> <li>●書くことの領域（記述の解答形式）、日常会話の理解（聞く）</li> </ul>
---

### 外国語科における調査結果の分析

	学 年	（ ）は正答率が区の平均値を下回った内容	考察
内容別結果の分析	6 年	聞くこと (単語の意味理解、アルファベットの読み、日常会話の理解)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区や全国平均と比べると、単語の意味理解、アルファベットの読み、日常会話の理解度が低い。アルファベットやまとまった英文を聞くことに慣れていないように感じる。身近で簡単な単語やアルファベットを繰り返し聞くことで、必要な情報を聞き取る力を育てていきたい。</li> </ul>
		読むこと (アルファベット・単語の読み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読むことの領域において目標値は上回っているが、区や全国平均を下回っているのは、アルファベットの読み（聞く）である。校内平均が目標値に対して－5%以上である。アルファベットの読みを音声で聞き取った後、活字体で書かれた文字を識別し、選択する問題で誤答が多い。それぞれの問題で、目標値が90.0に対して校内正答率が83.8、目標値が85.0に対して82.9、目標値が80.0に対して83.8、目標値が85.0に対して82.1と、正答率が低い。 活字体で書かれた文字を識別し、その読みを理解できるようにしていく。 <u>※似たような問題形式に慣れておく必要がある。</u></li> <li>●目標値は上回っているが、区の平均を下回っているのは、単語の読みである。目標値は79.3、区の平均が83.5、校内正答率は79.7という結果であった。</li> </ul>
		書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標値や区、全国の平均を下回っているのは、例文を参考にしながら、第三者について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書く項目である。それぞれの問題で、目標値が85.0に対して校内正答率が82.1、目標値が80.0に対して75.2、目標値が80.0に対して76.1、目標値が80.0に対して80.3と、正答率が低い。 <u>※日頃の授業内で書く練習を取り入れる必要がある。</u></li> </ul>

観 点 別 結 果 の 分 析	課題のある観点領域 ㊦「知識・技能」 ㊧「思考・判断・表現」㊨「主体的に学習に取り組む態度」
	○「知識・技能」、「思考・判断・表現」は目標値を1ポイント、上回っている。 ●「主体的に学習に取り組む態度」は目標値を1ポイント、下回っている。

#### 調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動の充実。
- 2 文字の識別とその読み方を発音する指導の強化。
- 3 アルファベットを始め、簡単な語句や基本的な表現を書く活動を増やす。

#### 外国語科の授業改善策

- 1 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動の充実させる。
  - ・ALTの発音やデジタル教材の音源を使用し、日常生活に関する身近な単語を聞き取る活動を多く取り入れる。
  - ・必然性のあるテーマについて、ペアやグループで会話練習をすることで友達の発音する音や単語を聞き取ることに親しみをもてるようにする。
  - ・英語の本の読み聞かせを通し、日常生活や身近な単語を聞き取る力を高めていく。
  - ・歌や曲に合わせて体を動かすことを通し、リスニング力を向上させる。
- 2 文字の識別とその読み方を発音する指導の強化。
  - ・アルファベットの確認を授業の最初に毎時間取り入れることで、読み方と発音を強化する。
  - ・外国語の活動だけでなく、理科や算数の授業でアルファベットが出てきた時にも、文字と読み方に触れてもらう。
  - ・アルファベットの歌を通し、発音を高めていく。
- 3 アルファベットを書くことに慣れ親しむ。
  - ・中学校英語に向けて、アルファベットや基本的な表現を書くことで、ローマ字に慣れ親しむようにする。プリントだけでなく、スクールタクトを利用することで、苦手意識がある児童の対応をしていく。
  - ・文字を書くデジタルコンテンツを利用することで、アルファベットを書くことに慣れ親しめるようにする。